第４学年　自然の中の水

組　　番　氏名

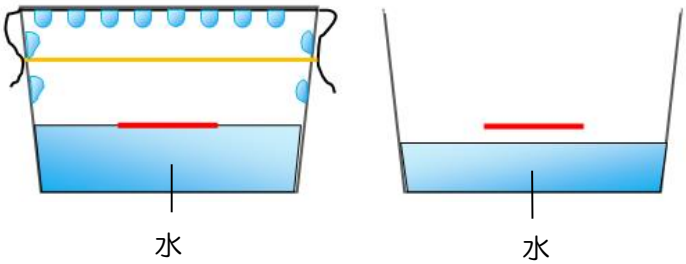
１　２つの入れものに同じ量の水を入れ、１つの入れものにはラップフィルムをかぶせておきました。２～３日後、入れもののようすを調べて、右のように記録しました。

この結果からわかったことをまとめた下の文の（　　）の中にあてはまる言葉を［　　］から選んで書きましょう。

同じ言葉を何度使ってもよいです。

結果

ふたをした入れものでは，ほとんど水がへらなかった。また，入れものの内がわには，水がたくさんついていた。ふたをしなかった入れものでは，水がへっていた。



ふたをしなかった入れものの中の水がへったのは、水は熱しなくても、水面から（　　）して（　　）となって空気中に出ていったからである。

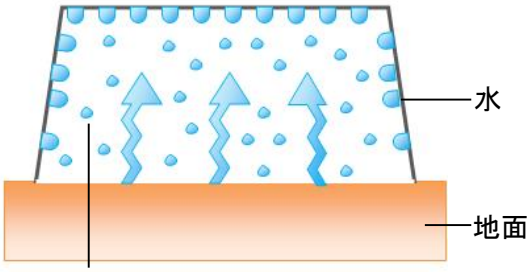
ふたをした入れものの内がわに水がついたのは、（　　）した（　　）がふたたび、（　　）になったからである。

［　水　　氷　　水じょう気　　じょう発　　ふっとう　］

２　雨がふったあとの天気のよい日に、とうめいな入れものを地面にふせておきました。しばらくおいたあと、入れものの中のようすを調べました。

しばらくおいておくと、入れものの内がわに水がつきました。どうしてそうなるのか、考えをまとめるために右のような図をかきました。

図を見ながら、入れものの内がわに水がついた理由を書きましょう。

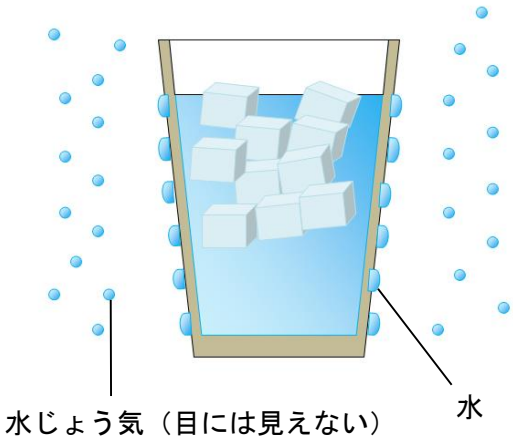


水じょう気（目には見えない）

3　かわいたコップに氷水を入れ、コップの外がわのようすを調べました。

（1）　しばらくおいておくと、コップの外がわに水がつきました。

　コップの外がわの水は、どうしてついたのかを、考えるために右のような図をかきました。図を見ながら、コップの外がわに水がついた理由を書きましょう。



（2）　コップの外がわについた水と同じでき方をしたものをえらんで、（　　）に〇を書きましょう。

①　運動場でできた水たまり　　（　　）
②　雪がとけてできた水　　（　　）
③　ふろ場のかがみのくもり　　（　　）

4　ほしておいたせんたくものが、かわく理由を説明（せつめい）しましょう。

第４学年　自然の中の水（解答）

組　　番　氏名

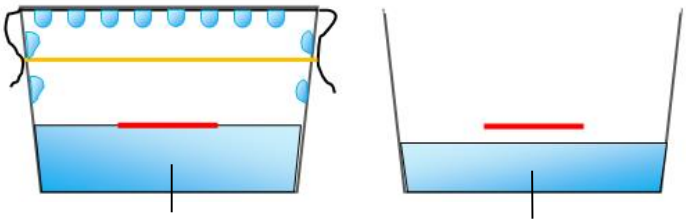
１　２つの入れものに同じ量の水を入れ、１つの入れものにはラップフィルムをかぶせておきました。２～３日後、入れもののようすを調べて、右のように記録しました。

この結果からわかったことをまとめた下の文の（　　）の中にあてはまる言葉を［　　］から選んで書きましょう。

同じ言葉を何度使ってもよいです。

結果

ふたをした入れものでは，ほとんど水がへらなかった。また，入れものの内がわには，水がたくさんついていた。ふたをしなかった入れものでは，水がへっていた。



ふたをしなかった入れものの中の水がへったのは、水は熱しなくても、水面から（　じょう発　）して（　水じょう気　）となって空気中に出ていったからである。

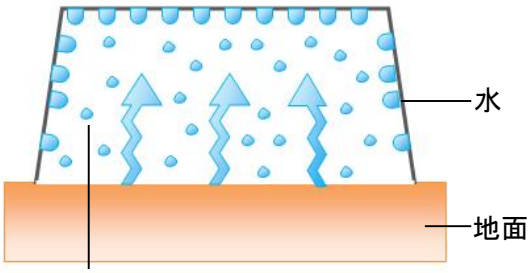
ふたをした入れものの内がわに水がついたのは、（　じょう発　）した（　水じょう気　）がふたたび、（　水　）になったからである。

［　水　　氷　　水じょう気　　じょう発　　ふっとう　］

２　雨がふったあとの天気のよい日に、とうめいな入れものを地面にふせておきました。しばらくおいたあと、入れものの中のようすを調べました。

しばらくおいておくと、入れものの内がわに水がつきました。どうしてそうなるのか、考えをまとめるために右のような図をかきました。

図を見ながら、入れものの内がわに水がついた理由を書きましょう。



水じょう気（目には見えない）

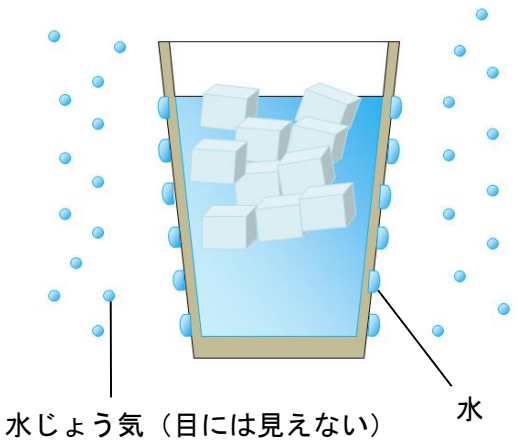
（例）内がわに水がついたのは、地面にしみこんだ水がじょう発して、水じょう気となり、水になったから。

※地面にしみこんだ水も、じょう発して空気中に出ていきます。

3　かわいたコップに氷水を入れ、コップの外がわのようすを調べました。

（1）　しばらくおいておくと、コップの外がわに水がつきました。

　コップの外がわの水は、どうしてついたのかを、考えるために右のような図をかきました。図を見ながら、コップの外がわに水がついた理由を書きましょう。



（例）空気中の水じょう気が氷水で冷えたコップに冷やされて水となり、コップについたから。

※空気中には、水じょう気がふくまれています。

（2）　コップの外がわについた水と同じでき方をしたものをえらんで、（　　）に〇を書きましょう。

①　運動場でできた水たまり　　（　　）
②　雪がとけてできた水　　（　　）
③　ふろ場のかがみのくもり　　（　〇　）

4　ほしておいたせんたくものが、かわく理由を説明しましょう。

（例）・せんたくものの水分が、じょう発するから。
・せんたくものにふくまれている水が、じょう発して、水じょう気として空気中に出ていくから。